

令和3年度 白川郷学園英語科研究構想

【英語科での児童生徒の実態】

- ALT や JTE の話している自然な英語を聞いて、内容を理解し積極的に反応することができる。
- 英語の自然な音調やアクセント等に気を付けて発音することができる。
- 仲間と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が身に付いている。
- △知識の定着が十分ではないため、即興でのやり取りの正確さに課題がある。
- △家庭学習の習慣が十分身に付いていないことから、後期課程では、既習事項を活用して書くことに弱さがある。

【学校教育目標】

ひとりだち

自立 共生 貢献

【英語科で今後求められるもの】

- ・義務教育9カ年を通し、「英語4技能」をバランスよく身に付け、グローバルに活躍すること。
- ・英語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、相手に配慮しながら、より多様な表現でコミュニケーションをとること。

【白川郷学園で求められる児童生徒像】

- ①自立・・・意欲的に学び、より質の高いものを自ら求め続ける子
- ②共生・・・対話的に学び、仲間と協力して活動する子
- ③貢献・・・深く学び、仲間・地域のために行動する子

【研究主題】 「先を読む力」を発揮し、学びを加速させる姿を目指して

【全教育活動を通して育てたい資質能力：先を読む力】

先を読む力とは、児童生徒が主体的に問題解決の方法を生み出していく力である。この力は、教師が手立てを与えすぎの中では培われることはない。全教育活動を通して、児童生徒が、これまでに身に付けた既習内容や生活経験、様々な見方・考え方を駆使して、仲間との対話をしながら試行錯誤する営みを繰り返す中で、培われるものであると捉えている。

【英語科で願う子どもの姿（「先を読む力」を発揮している姿）】

英語に興味・関心をもち、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、いきいきと即興的に表現したり、相手に配慮しながら伝え合ったりすることができる姿。

【研究内容・具体的な手立て】

(1) 主体的に問題を見いだす導入の工夫	(2) 自ら解決方法を生み出す学習活動の工夫	(3) 自己の学びを自覚する終末の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・教師と子どもの双方向によるやり取りを通して英語への関心を高める導入 ・「英語を使いたい、話したい」と思えるような終末の姿の提示 ・自分のことや白川村のことなど児童生徒が身近に感じられるようなコミュニケーションの目的や場面・状況等の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まずはやってみる」を大切にしたい即興的なやり取りの場の設定 ・課題解決に向けて、相手に配慮しながらより多様な表現ができるような中間交流の場の設定 ・多様な表現を引き出すための意図的なペアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの定着につながる書く活動の設定 ・児童・生徒の自己調整能力と粘り強さを大切にしたい振り返りの場の設定

第5学年 英語科学習指導案

日 時 令和3年10月12日(火)
場 所 5年生教室
授業者 杉澤 美紀

- 1 単元名 She can sing well
- 2 本時のねらい (5/7)

ALT や仲間とお互いのことをよく知るために、自分のできることを伝えたり、相手のできることを尋ねたりすることができる。

本時における「先を読む力を発揮して、学びを加速させている姿」
 これまでに身に付けた英語表現を駆使しながら、ALT や仲間に自分のことを知ってもらうために英語で伝えたり、相手のことを知るために尋ねたりしている姿。

3 本時の展開

過程	主な学習活動	指導・援助(・) / <研究内容>
導入	0 Chant canを使ったチャンツで英語モードに切り替える準備と既習表現の復習をする。 1 Greeting 今日の調子を探ねて 2 Small Talk 動詞を使ったジェスチャーゲームをする。 3 Interactive teachers talk JTE: Let's talk about food. What food do you like? Tell me, please. What food do you like? (子どもも巻き込みながら) ALT: I like pasta. It's delicious. JTE: Nice, Me too. You like pasta so can you cook? ALT: Yes, I can. I can cook Tomato pasta. JTE: Good. Tomato pasta. Well... I can cook Pasta too, and I can cook チャーハン. I like Chinese food. ALT: Nice, everyone can you cook curry and rice? Thank you for telling me. Tell me more about you.	・教師やALTのやり取りを聞くことで、今までに習った表現を使いながら英語に親しめるようにする。<研究内容1> ・ALTやJTEのやり取りを聞いて、考えながら聞く場面や状況を設定することで、「英語を使ってALTの先生に伝えたい。」と思える導入にする。<研究内容1>
展開	Today's Goal: ジョン先生や友達に自分ができることを伝えたり、相手ができることを尋ねたりしよう。 4 Thinking Time マインドマップ作成 5 Activity インタビュー活動 <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>A: Can you play kendama? B: Yes. A: Nice! Can you cook curry and rice? B: No. A: OK</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>B: I can sing. Can you sing well? A: Yes, I can. B: Good! I can play baseball. Can you play baseball? A: No, I can't. B: OK. Thank you.</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">→ ロールチェンジ</p> <p>●Sharing Time (児童が言語活動を行っていく中で、随時行う。) ・canを使ってこのようなことを聞けたよ。・もっとこういうこと聞きたいな。 ・自分のことも相手に伝えて、相手にも聞けたよ。・できることと付け足して自分の好きな選手についても伝えられたよ。・言いたいことが言えなかった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>A: I can play soccer. I like 長友. Can you play soccer? B: No, I can't, but I like soccer. I like 本田. A: Nice. I can sing well. I like music. Can you sing well? B: No, I can't. A: OK.</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>B: I can draw a picture. It's fun. Can you draw a picture? A: No, I can't. but I like art. B: Me too. I can play the piano. Can you play the piano? A: Yes, I can. B: Good.</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">→ ロールチェンジ</p> <p>●Sharing Time (児童が言語活動を行っていく中で、随時行う。) ・自分のことを言って、ALTの先生にも質問できた。 ・自分のことを言う時に、理由も一緒に言えた。 ・相手ができそうなことを考えて質問できた。</p>	・やり取りの中で児童の個々の発言を把握する。Sharing Timeを必要に応じて入れ、自分のことを伝えて相手にも聞いている姿や、できることにプラスで内容を話していることを取り上げることで、自分のことを発信したり、相手に配慮したコミュニケーションができる良さに気づけるようにする。(活動④) <研究内容2> ・その他の既習表現を使って仲間やALTの先生へ自分の事を伝えたり、聞いたりしている生徒を取り上げることで内容を大切に言語活動にする。(活動⑤) <研究内容2> ・自分の頑張りや伝えたり、仲間の頑張りを知ったりする場を設定することで自己の学びの定着を確認したり、次の時間の学習に見通しをもったりできるようにする。(活動⑥) <研究内容3> ・ALTへ自分や仲間のことを伝え、ALTへの質問をしたりしている児童や、既習事項を使って何とか伝えようとしたりしている態度面や内容面の価値付けを行う。
終末	7 Treasure Time 本時の自分の学びの伸びやできるようになったことを交流する。 始めは〇〇ができる?と言うことだけをALTの先生や友達に聞いていたけど、今までに習ったことを使って自分のことをもっと知ってもらいたいと思って情報を付けたして伝えたり、ALTの先生の新しいことを知るために自分に関わらせて質問をしたりすることができた。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【評価規準】</p> <p>ALTや仲間に自分ができることを伝えたり、相手ができることについて尋ねたりしている。(発言内容) 【思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度】</p> </div>

4 単元のねらい

知識及び技能	できることやできないことを表す語彙や表現について理解し、それらについて聞き取ったり、話したりすることができる。
思考力、判断力、表現力等	できることやできないことについて、目的に応じて必要な情報を聞き取ったり、相手に話したりすることができる。
学びに向かう力・人間性等	習ったことを積極的に用いて、相手に配慮しながら、自分が言いたいことを伝える努力をしたり、相手の話を理解しようと努めたりすることができる。できることやできないことについて、目的に応じて必要な情報を聞き取ったり、相手に話したりしようとする。

5 本単元における「先を読む力を発揮して、学びを加速させている姿」



今まで学習してきた英語の表現と今回学習する「できることやできないこと」を表す英語を使えば、もっと自分のことを伝えたり、仲間について知ったりすることができる。新しく知った仲間の情報を新しいジョン先生に伝えてもっと5年生のことを知ってもらいたいな。

6 指導計画

時	学習課題	ねらい
1	誰がどんなことをできるか聞き取ろう。	絵などを参考にしながら、いろいろな動作を表す語彙や表現の意味を推測したり、聞きとったりすることができる。 【知識・技能】
2	自己紹介を聞いて誰がどんなことをできるか聞き取ろう。	絵などを参考にしながら、いろいろな動作を表す語彙や表現の意味を推測したり、聞きとったりすることができる。 【知識・技能】 can や can' t の意味を正しく理解したり動詞の意味を正しく理解したりすることができる。 【知識・技能】
3	自分ができること、できないことを伝えよう。	自分ができることやできないことを表す語彙や表現について理解し、聞き取ったりできるかどうかを尋ねあうことができる。 【思考・判断・表現】
4	相手が思い浮かべている動物を当てよう。	どの動物がどんなことをできるか予想をしながら聞くことを通して、相手が思い浮かべている動物を、相手が使った語彙や表現に着目しながら聞いたりすることができる。 【思考・判断・表現】
5 【本時】	ジョン先生や友達に自分ができることを伝えたり、相手ができることを尋ねたりしよう。	ALT や仲間とお互いのことをよく知るために、自分のできることを伝えたり、相手のできることを尋ねたりすることができる。 【思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度】
6	仲間の演奏できる楽器やできない楽器を聞き取り、仲間のできることについて紹介する表現を身に付けよう。	楽器についてのまとまった表現を聞くことを通して、目的に沿って必要な情報を聞き取り、第三者について仲間のことを紹介することができる。 【思考・判断・表現】
7	仲間のできることを新しいジョン先生に紹介しよう。	第三者のできることを、やり取りで分かったことをもとに他者に伝えるために話すことができる。【知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度】